

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、平成28年3月末現在で94.0%（総人口5,096千人に対して給水人口4,789千人）となっており、未給水人口は307千人となっています。

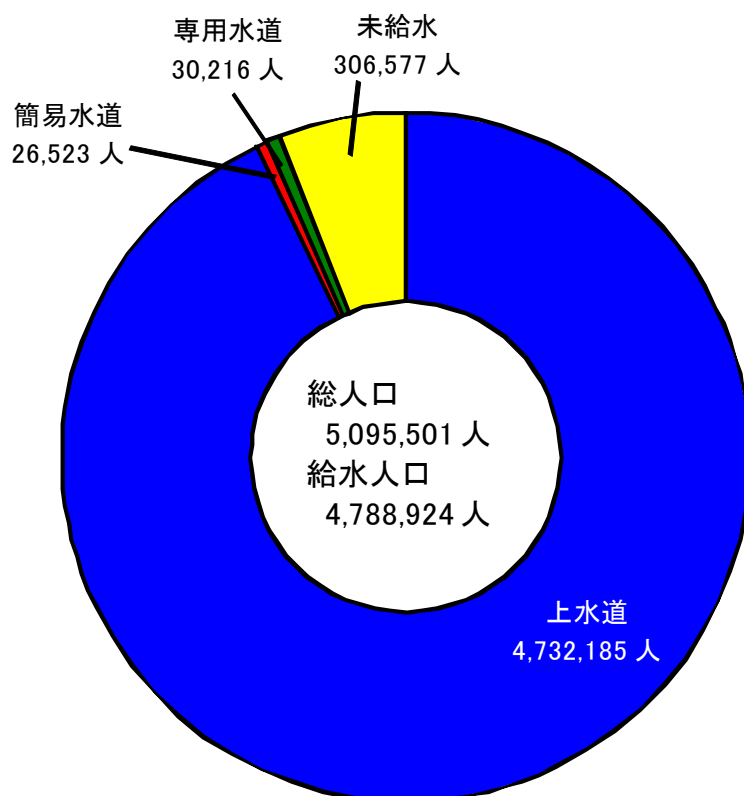
広域圏別の水道普及率は、福岡地区と北九州地区が96.2%と最も高く、次いで筑豊地区が95.4%、筑後地区が84.0%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,732千人（98.8%）と大部分を占めており、次いで専用水道が30千人（0.6%）、簡易水道が27千人（0.6%）となっています。

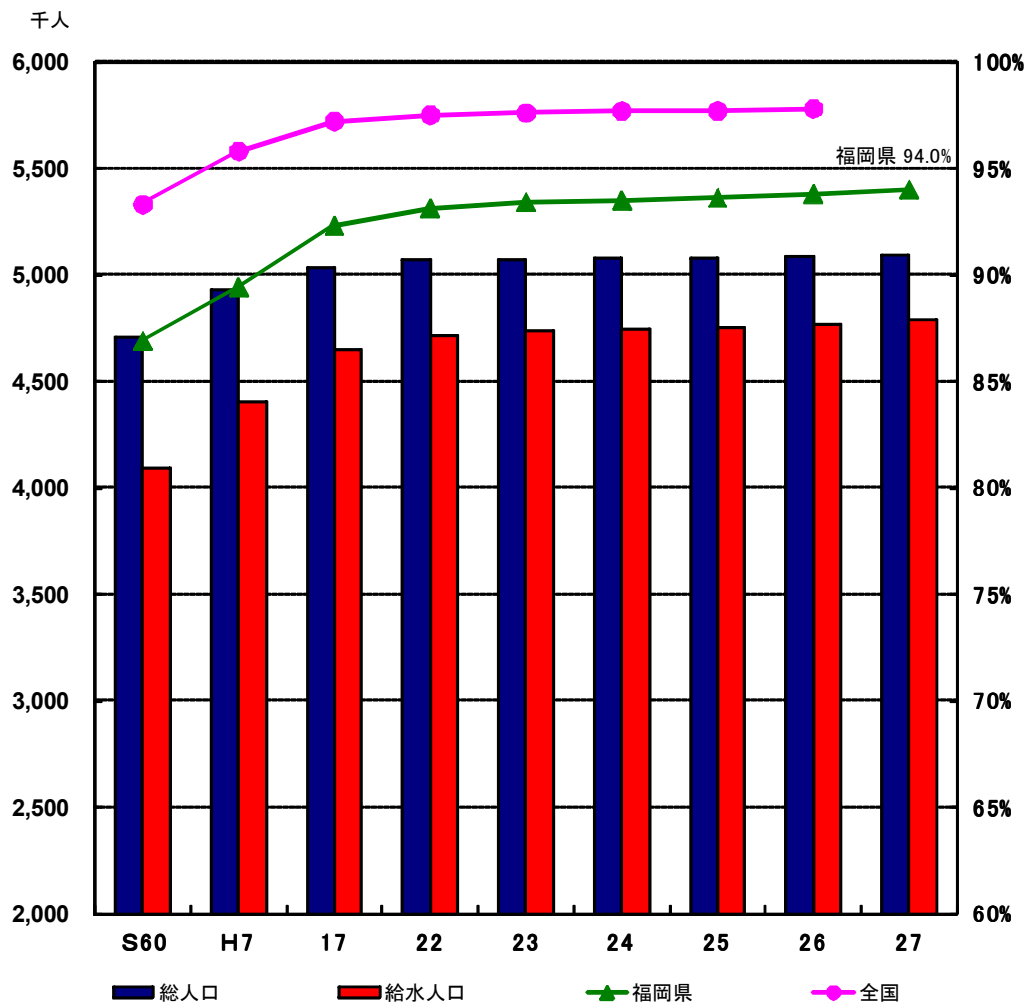
◎ 現在給水人口と普及率（平成28年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,513,796	2,418,501	2,402,002	1,705	14,794	96.2%
北九州	1,275,109	1,226,021	1,215,459	9,138	1,424	96.2%
筑後	892,751	749,740	729,749	9,769	10,222	84.0%
筑豊	413,845	394,662	384,975	5,911	3,776	95.4%
県計	5,095,501	4,788,924	4,732,185	26,523	30,216	94.0%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



	S60	H7	17	22	23	24	25	26	27	
本県の総人口 (千人)	4,708	4,926	5,037	5,067	5,072	5,076	5,081	5,082	5,096	
本県の給水人口 (千人)	4,090	4,404	4,650	4,716	4,737	4,744	4,755	4,767	4,789	
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.3%	93.1%	93.4%	93.5%	93.6%	93.8%	94.0%
	全国	93.3%	95.8%	97.2%	97.5%	97.6%	97.7%	97.7%	97.8%	未公表

※本資料作成時点で、全国の平成27年度値は未公表

2 給水の状況

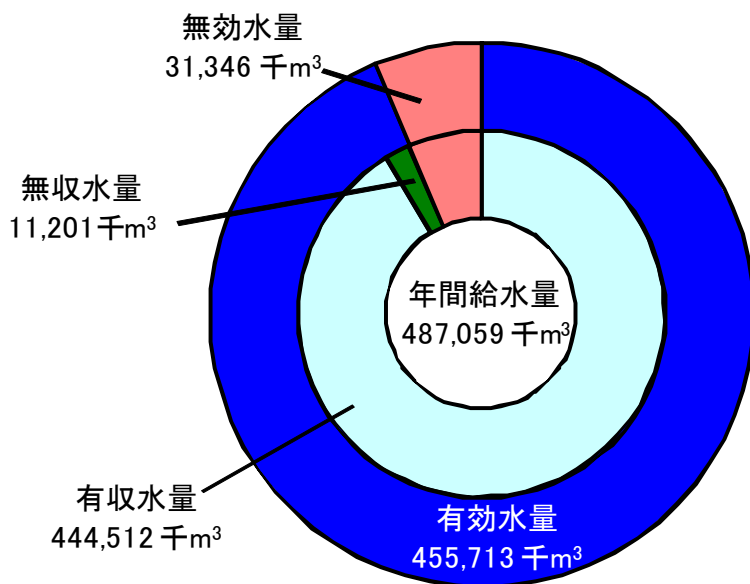
(1) 年間給水量

平成 27年度の年間給水量は 487,059 千 m³となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.4%)。なお、年間給水量は前年度から 4,838 千 m³増加しています。

また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 93.6%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	226,940	219,247	215,899	3,348	7,693	96.6%	95.1%
	北九州	135,661	125,096	121,626	3,470	10,565	92.2%	89.7%
	筑後	73,652	68,112	65,233	2,879	5,540	92.5%	88.6%
	筑豊	47,757	41,096	39,644	1,452	6,661	86.1%	83.0%
	計	484,010	453,551	442,402	11,149	30,459	93.7%	91.4%
簡易水道	福岡	159	138	137	1	21	86.8%	86.2%
	北九州	747	688	680	8	59	92.1%	91.0%
	筑後	1,335	890	855	35	445	66.7%	64.0%
	筑豊	808	446	438	8	362	55.2%	54.2%
	計	3,049	2,162	2,110	52	887	70.9%	69.2%
合計		487,059	455,713	444,512	11,201	31,346	93.6%	91.3%



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量(有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量(有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量(配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 354,775 千 m³、業務・営業用が 76,480 千 m³、工場用が 8,620 千 m³、その他が 2,527 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	173,939	40,779	583	598	215,899
北九州	96,687	19,979	3,943	1,017	121,626
筑後	52,580	10,157	1,717	779	65,233
筑豊	31,569	5,565	2,377	133	39,644
計	354,775	76,480	8,620	2,527	442,402
構成比率	80.2%	17.3%	1.9%	0.6%	100.0%

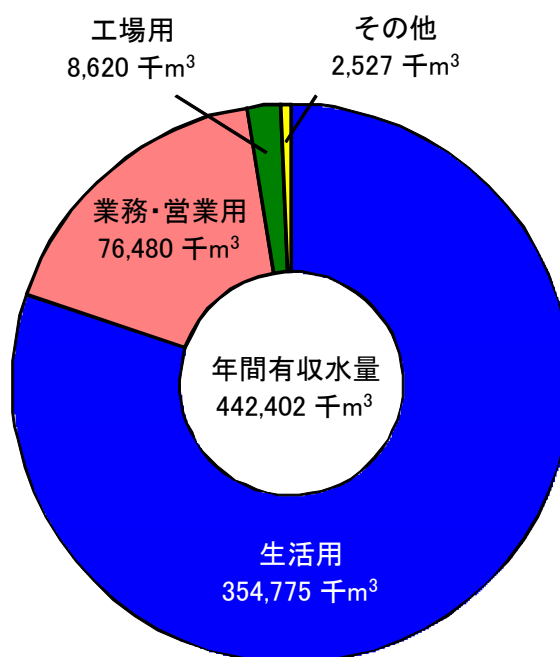
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 27 年度において一日平均給水量は 1,331 千 m³、一日最大給水量は 1,912 千 m³ となっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 280 リットル、最大給水量が 402 リットルとなっており、広域圏別にみると、筑豊地区が最も多く、次いで北九州地区、筑後地区、福岡地区の順となっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (ℓ)	日最大 (m ³)	一人一日 (ℓ)
福岡	上水道	620,055	258	813,461	339
	簡易水道	434	254	935	548
	計	620,488	258	814,396	339
北九州	上水道	370,658	305	561,782	462
	簡易水道	2,040	223	2,862	313
	計	372,699	304	564,644	461
筑後	上水道	201,235	276	306,819	420
	簡易水道	3,647	373	4,975	509
	計	204,882	277	311,794	422
筑豊	上水道	130,484	339	218,072	566
	簡易水道	2,209	374	3,315	561
	計	132,692	339	221,387	566
県計	上水道	1,322,432	279	1,900,134	402
	簡易水道	8,330	314	12,087	456
	計	1,330,762	280	1,912,221	402
全国	上水道	-	332	-	377

○ 平均給水量

- ・ 日平均：年間給水量 ÷ 366日(1年)
- ・ 一人一日：日平均給水量 ÷ 給水人口

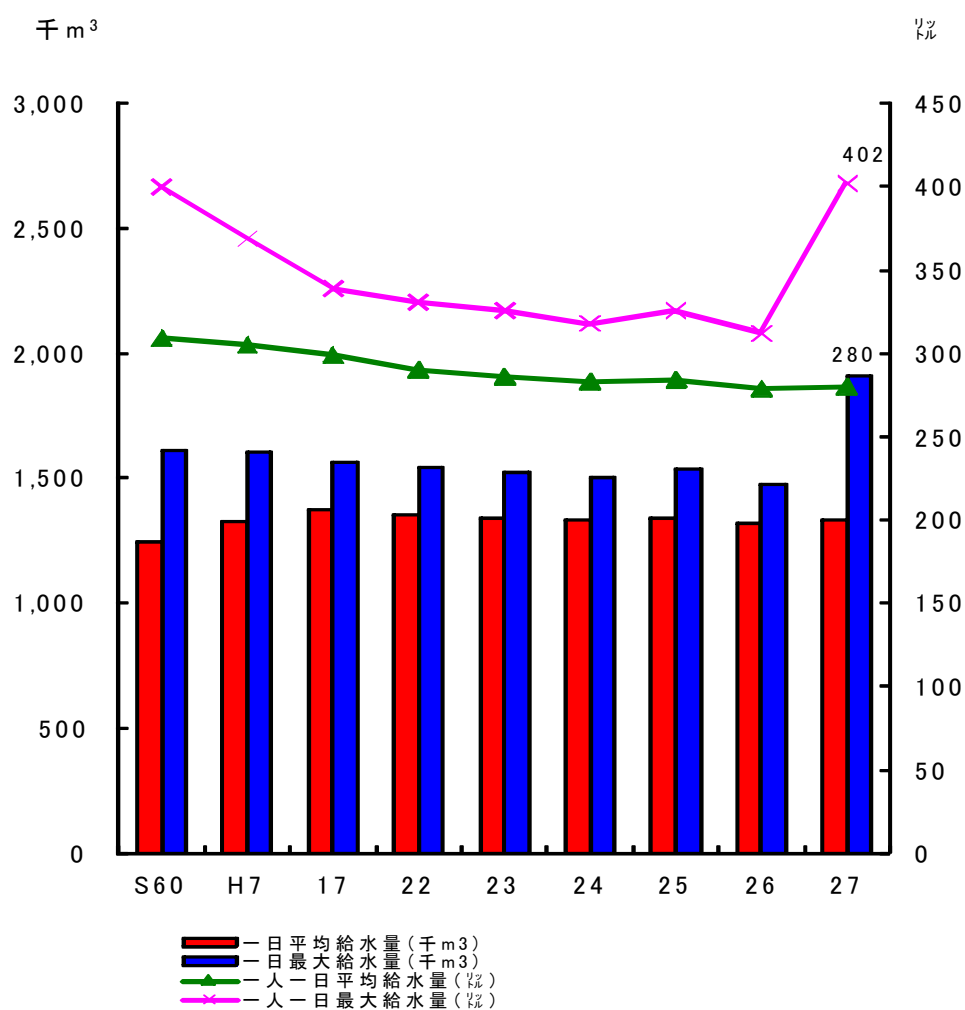
○ 最大給水量

- ・ 日最大：水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日：日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 26 年度末の値(本資料作成時点で平成 27 年度値は未公表)

平成 28 年 1 月の記録的寒波に伴う給水管の凍結・破損等による漏水の影響で、一日最大給水量、一人一日最大給水量は前年度に比べ増加しましたが、一日平均給水量・一人一日平均給水量は、近年ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



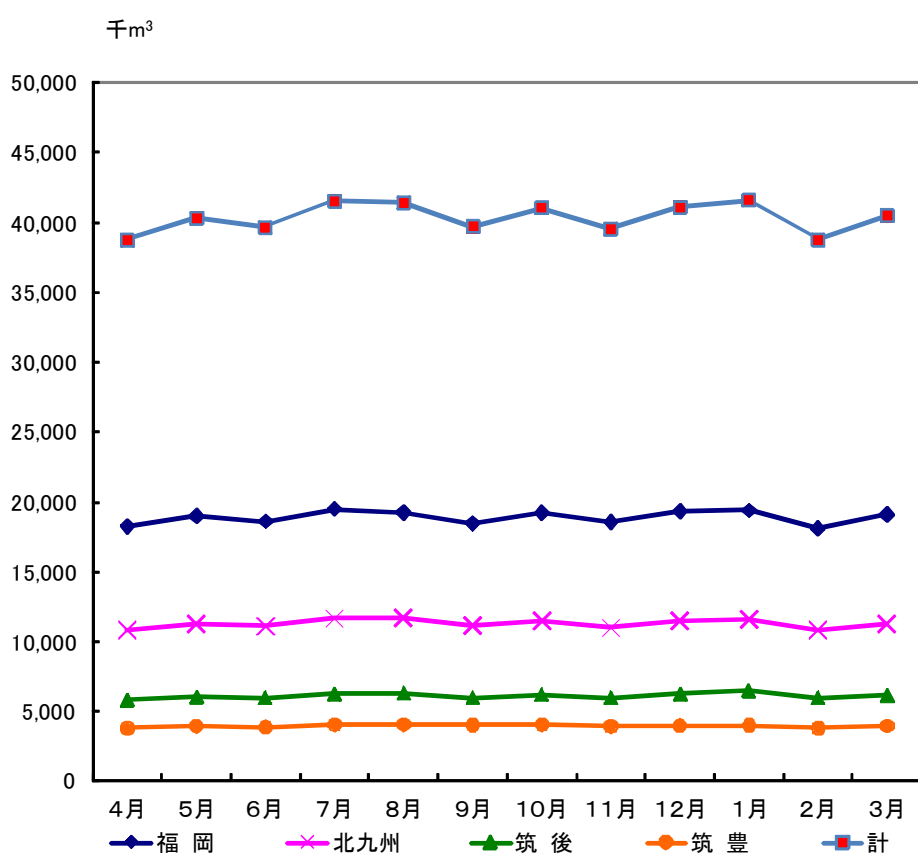
区分 \ 年度	S60	H7	17	22	23	24	25	26	27
一日平均給水量(千m³)	1,245	1,329	1,376	1,357	1,341	1,333	1,339	1,321	1,331
一日最大給水量(千m³)	1,611	1,607	1,562	1,546	1,527	1,500	1,540	1,477	1,912
一人一日平均給水量(ℓ)	309	305	299	290	286	283	284	279	280
一人一日最大給水量(ℓ)	400	369	339	331	326	318	326	312	402

(4) 月別給水量

平成27年度の上水道事業における月別給水量の最大値は1月の41,602千m³であり、最小値は4月の38,751千m³となっています。

広域圏別にみると、福岡地区の最大値は7月の19,508千m³、最小値は2月の18,113千m³、北九州地区の最大値は8月の11,756千m³、最小値は4月の10,826千m³、筑後地区の最大値は1月の6,515千m³、最小値は4月の5,844千m³、筑豊地区の最大値は8月の4,085千m³、最小値は4月の3,815千m³となっています。

◎ 月別給水量(上水道)

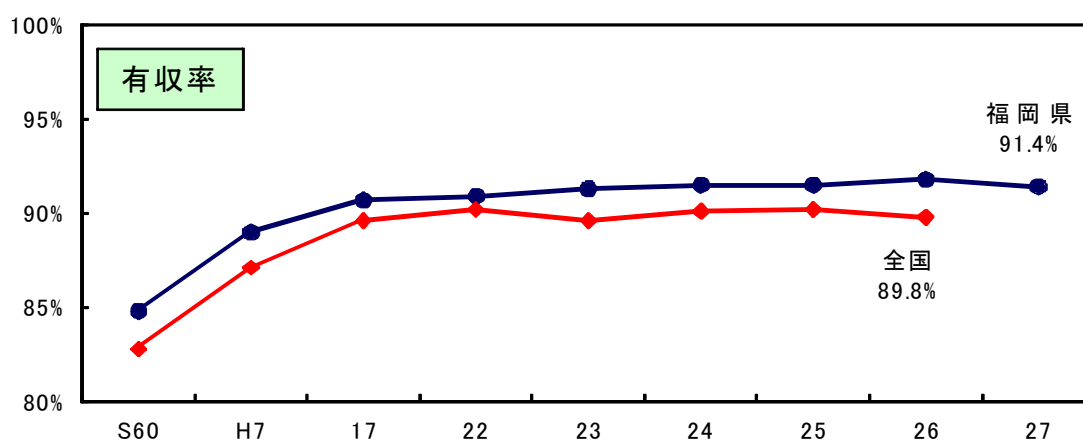
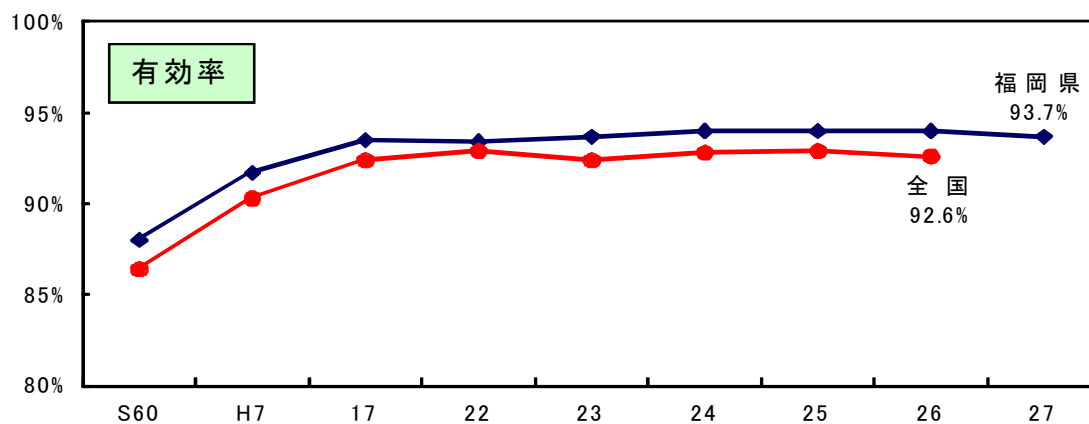


広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,266	18,991	18,623	19,508	19,265	18,498	19,225	18,588	19,342	19,408	18,113	19,113	226,940
北九州	10,826	11,289	11,125	11,676	11,756	11,169	11,525	11,013	11,522	11,649	10,862	11,249	135,661
筑後	5,844	6,069	5,986	6,272	6,315	6,020	6,224	5,987	6,253	6,515	6,001	6,166	73,652
筑豊	3,815	3,964	3,910	4,063	4,085	4,053	4,061	3,954	4,011	4,030	3,822	3,989	47,757
計	38,751	40,313	39,644	41,519	41,421	39,740	41,035	39,542	41,128	41,602	38,798	40,517	484,010

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 27年度の有効率は 93.7%、有収率は 91.4%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	17	22	23	24	25	26	27
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	93.5%	93.4%	93.7%	94.0%	94.0%	94.0%	93.7%
	全国	86.4%	90.3%	92.4%	92.9%	92.4%	92.8%	92.9%	92.6%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	90.7%	90.9%	91.3%	91.5%	91.5%	91.8%	91.4%
	全国	82.8%	87.1%	89.6%	90.2%	89.6%	90.1%	90.2%	89.8%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

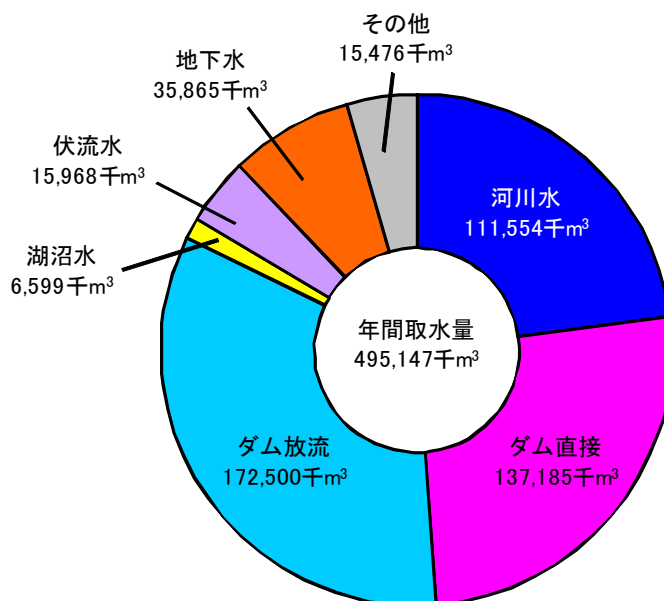
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の平成 27 年度値は未公表

3 取水の状況

平成27年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて495,147千 m^3 で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(86.4%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位:千 m^3)

年度	S60	H7	17	22	23	24	25	26	27
河川水	116,791	163,039	129,617	132,788	118,090	128,986	120,143	113,648	111,554
ダム直接	131,761	113,409	109,365	116,002	126,879	107,876	115,216	128,638	137,185
ダム放流	134,891	120,667	165,716	146,689	157,447	161,330	176,168	166,278	172,500
湖沼水	5,537	7,981	9,327	7,425	7,229	7,431	6,681	6,459	6,599
伏流水	22,736	24,389	31,518	21,563	20,002	21,715	22,729	21,033	15,968
地下水	47,998	56,701	49,135	50,275	49,002	46,449	39,794	38,963	35,865
その他	1,003	1,429	24,138	29,995	15,011	27,287	15,399	21,723	15,476
(海水淡水化)	-	-	(23,497)	(29,209)	(14,208)	(26,540)	(14,597)	(20,905)	(14,809)
計	460,717	487,615	518,816	504,737	493,660	501,074	496,130	496,742	495,147

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成17年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

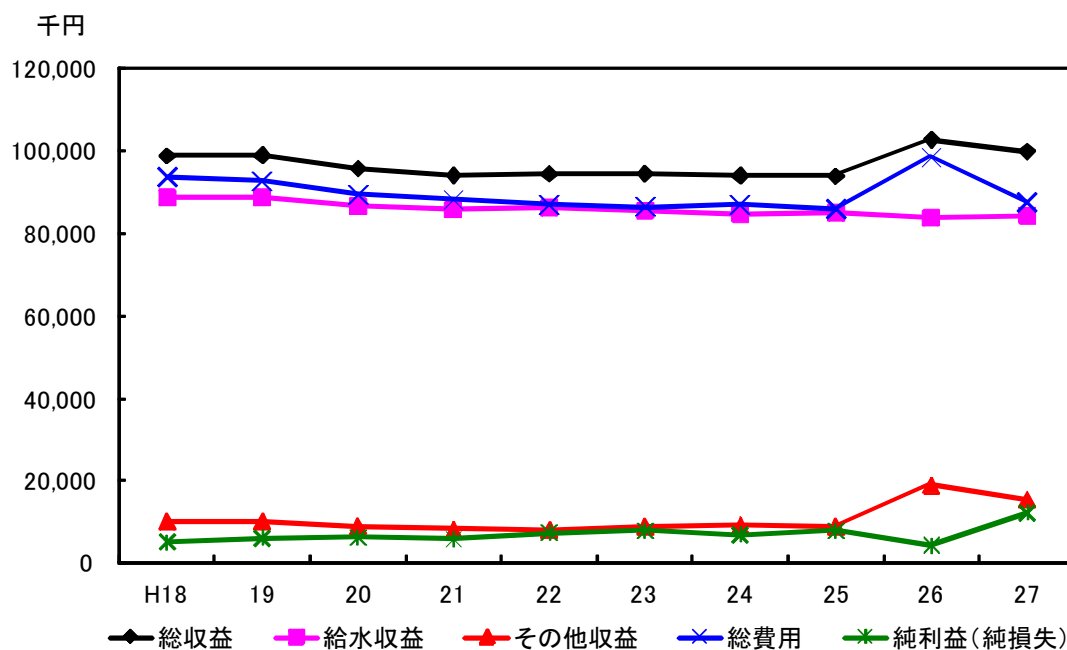
平成27年度における上水道事業の総収益は 999 億円となっており、前年度から 28 億円減少しています。また、総費用は 875 億円となっており、前年度から 108 億円減少しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は 124 億円となっており、前年度から 80 億円増加しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	総 収 益 (A)		総 費 用 (B)	純 利 益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H18	98,795,941	10,131,160	93,537,038	5,258,903
19	98,824,166	10,250,193	92,608,199	6,215,967
20	95,636,195	9,138,524	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	8,349,431	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	8,179,069	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	8,924,002	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	9,268,662	86,907,512	7,059,719
25	93,839,680	8,965,847	85,887,029	7,952,651
26	102,736,917	18,985,014	98,336,934	4,399,983
27	99,874,383	15,533,612	87,490,321	12,384,062



(2) 費用構成

平成27年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

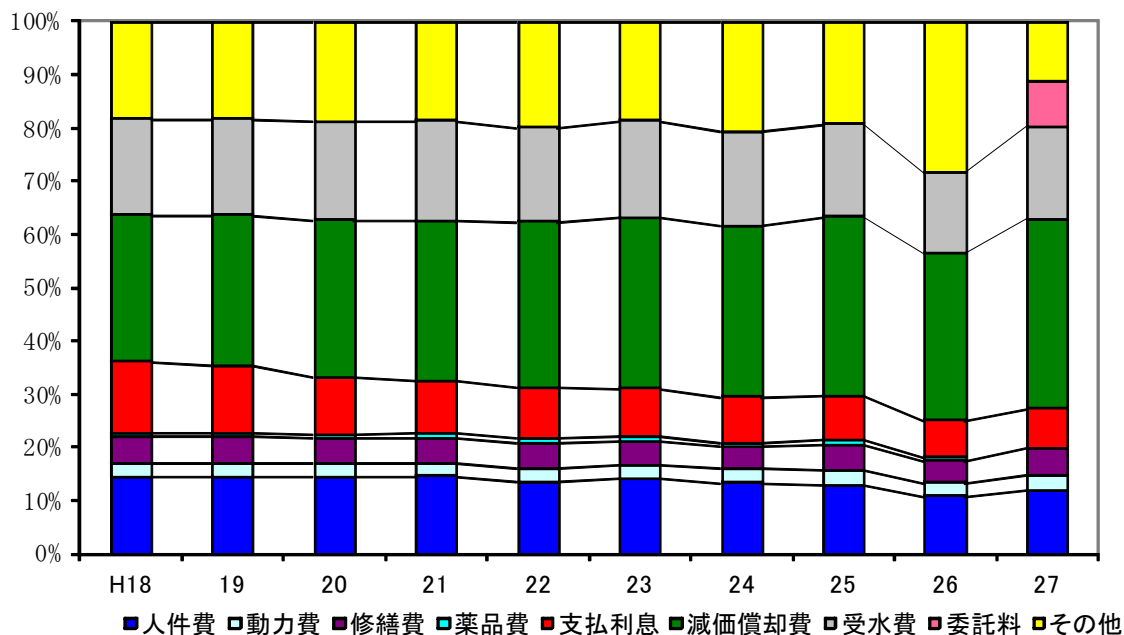
また、減価償却費は増加傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人件費	13,473,489 (14.5%)	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)	10,918,837 (12.8%)	10,572,446 (10.8%)	10,161,902 (11.7%)
動力費	2,095,249 (2.3%)	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)	2,456,538 (2.9%)	2,515,888 (2.6%)	2,372,793 (2.7%)
修繕費	4,894,972 (5.3%)	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)	4,046,637 (4.8%)	4,029,054 (4.1%)	4,460,436 (5.2%)
薬品費	639,946 (0.7%)	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)	639,937 (0.8%)	564,837 (0.6%)	507,302 (0.6%)
支払利息	12,408,242 (13.4%)	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)	7,219,461 (8.5%)	6,832,256 (7.0%)	6,422,951 (7.4%)
減価償却費	25,536,256 (27.6%)	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)	28,588,867 (33.6%)	30,584,689 (31.3%)	30,727,993 (35.5%)
受水費	16,761,061 (18.1%)	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)	14,841,081 (17.4%)	14,845,990 (15.2%)	14,880,467 (17.2%)
委託料										7,461,594 (8.6%)
その他	16,879,258 (18.2%)	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)	16,389,179 (19.3%)	27,773,301 (28.4%)	9,556,905 (11.0%)
計	92,688,473 (100.0%)	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)	85,100,537 (100.0%)	97,718,461 (100.0%)	86,552,343 (100.0%)

※平成27年度から「委託料」が、統計項目として追加された。(平成26年度までは「その他」に含まれていたもの。)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

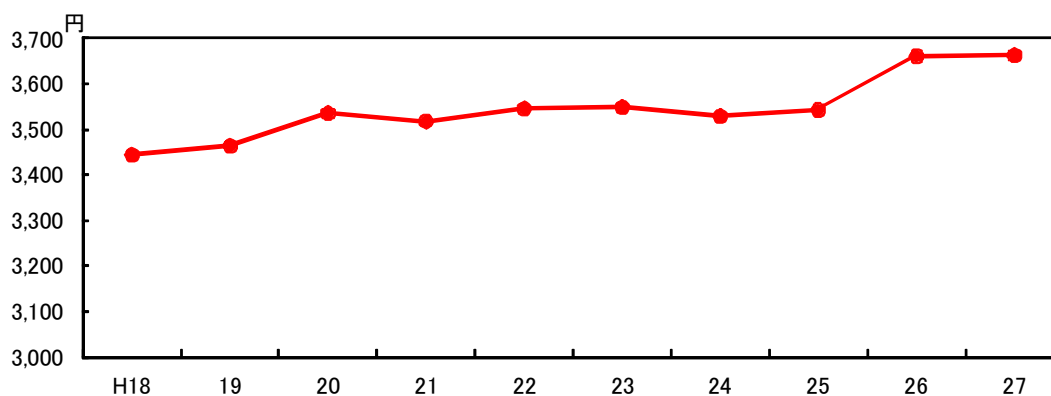
平成28年3月末現在において、家庭用1ヶ月20m³の水を使用した際の料金は下記の表のとおりで、3,500円以上4,000円未満としている事業者が最も多く、県平均は3,663円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金（上水道）

（平成28年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	4
2,500円以上～3,000円未満	6
3,000円以上～3,500円未満	7
3,500円以上～4,000円未満	18
4,000円以上～4,500円未満	11
4,500円以上	4

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20m³当たり）



（単位：円）

年度	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
福岡県	3,444	3,464	3,536	3,518	3,546	3,549	3,529	3,543	3,661	3,663

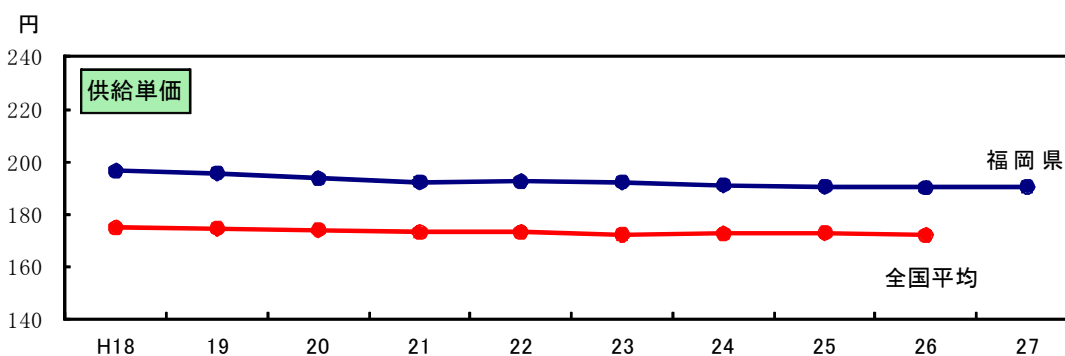
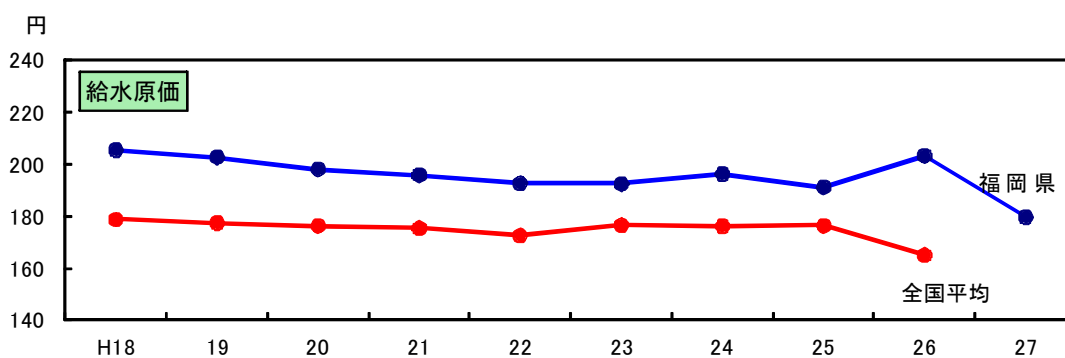
※ 基礎料金・メーター使用料を含む
 全国平均(平成26年度)：3,183円

6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 27 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 179.74 円/m³ 及び 190.64 円/m³ となっています。

また、いずれも近年で全国平均を上回っており、横ばいから減少傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
給水原価	福岡県	205.62	202.89	198.17	195.97	192.86	192.62	196.36	191.35	203.39	179.74
	全国平均	178.83	177.45	176.35	175.47	172.65	176.78	176.26	176.51	165.13	未公表
供給単価	福岡県	196.69	195.90	193.82	192.54	192.64	192.43	191.39	190.84	190.32	190.64
	全国平均	175.20	174.78	174.31	173.51	173.46	172.47	172.95	173.12	172.34	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の平成 27 年度値は未公表